令和７年度第１回　島田市環境審議会会議録

１．日 時　令和７年８月 13 日（水）　14 時 00 分～15 時 50 分
２．会 場　島田市役所 大会議室西
３．出席者　＜委員＞
　　平井会長、木村副会長、浅見委員、鈴木委員（自治会）、杉本委員、三浦委員、榎委員、増田委員（企業）松本委員
　＜事務局＞
　　齋藤地域生活部長、櫻井環境課長、酒匂課長補佐、桐田係長、小野係長、後藤主査、堤主査、松浦書記
４．傍聴人　０人
５．開 会
６．部長挨拶
７．委嘱状交付
　委員変更にとない２名に委嘱状の交付を行った
８．議事
　審議事項
　(1)令和７年度版環境報告書について
　　第一・三章の概要を堤主査から説明
　　第二章を松浦書記、第四章を後藤主査からそれぞれ説明

　　質疑応答

　●（松本委員）
　　P50.59　ごみ処理量のうちプラスチックごみなどの分類の内訳はどうやって算出されているのか？
　◎（事務局）
　　ごみ質検査でごみの成分分析を行い割合から算出しているものとなる。
　●（杉本委員）
　　P59　グリーン購入率について記載があるが、何を指しているものか？
　◎（事務局）
　　一般的な事務用品の購入に関するものです。
　●（平井会長）
　　P55 以降　地球温暖化対策実行計画事務事業編で co_2排出量が減少している理由について、事務局ではまだよくわからないという回答だったが、とても重要な点になるが、何か要因はないか？
　◎（事務局）
　　令和４年度から田代環境プラザの燃料であるコークスを減らし、バイオマスチップで施設を運営しているということがある。そういったことも要因の１つ。
　●(浅見委員）
　　P50　生物多様性についての記載がとても少ないように感じる。
　●（平井会長）
　　そろそろ生物多様性の地域戦略を島田市でも具体的に検討していただく時期かと思います。また是

非予算計上など検討していただきたい。

◎（事務局）

環境保全協定を締結している事業所へ生物多様性についての話は持ち掛けているが、なかなか興味を持っていただくことが難しいという現状もある。企業価値も上がるという話もしていますがなかなか難しい。そんな中でどこが主体となってやっていったらよいかというところも悩みどころとなっています。

●（増田委員）

ごみの量が減少していると思うが、市のごみ収集カレンダーに記載されている年間ごみ処理量と今回の報告書では記載されている量が違うのはなぜか？

◎（事務局）

ごみ収集カレンダーに記載されているものは家庭からでるごみの量となりますので、事業系の一般廃棄物は含まれていません。差分は市内事業所からでる事業系の一般廃棄物となります。

●（杉本委員）

P50　農地の保全の中の農業振興課の取組の中にオーガニックビレッジ宣言の記載がありませんが記載しないのですか？

◎（事務局）

担当課からの報告を取りまとめているおのとなりますので、また農業振興課に確認を行います。

●（浅見委員）

水生生物調査について経年表を修正していただいたが、水質の階級のみの記載となっている。可能であれば生息していた生物についての記載もあると親しみを持ってもらえると思う。

◎（事務局）

ご意見をいただきましたので、見せ方についても検討していきたい。

協議事項

(１)持込ごみの料金体系の見直しについて

桐田係長より説明　詳細は資料参照

近隣各市町、組合の料金体系を説明。市民でない人が他市のごみを持ちこもうとしたり、産業廃棄物を家庭ごみと偽り申告する者など、トラブルが絶えない状況である。詳細は資料参照

市としては P2 の変更パターン２を考えている。また島田市は志太広域事務組合に準じた内容で変更していきたい。志太広域は令和元年度に持込を１日１回限りとしているため、田代も令和９年度から、一日あたり持込回数を１回限りに改正したい。

質疑応答・意見

●（平井会長）

この値上げをして年間でどのくらいの収入増を見込んでいるか。

◎（事務局）

おおむね 30 万円を見込んでいる。

●（平井会長）

２回目以降を有料とするという話だったが、どうやって把握するか？

◎（事務局）

受付で記載された電話番号をシステムに入力することで、２回目以降持込をした場合に把握できるようにシステムを回収する予定。

(２)粗大ごみの個別収集の有料化について

酒匂補佐より説明　詳細は資料参照

昨年度第１回審議会で審議いただき承認をいただいた内容について、実施方法について説明。

１．　戸別収集１回につき 1,000 円とする

２．　車を所有していない世帯、高齢者のみの世帯については引き続き無料

３．　市内行政施設等の窓口で事前に料金を支払い専用シール発行

令和８年度までに詳細についての協議、条例改正、予算要求等を行い、令和９年度から開始予定。

併せて市が推奨しているリサイクルサービス「おいくら」の活用を周知しごみ減量につなげていきたい。

質疑応答・意見

●（鈴木委員）

料金を市の行政施設で事前支払いとのことだが、高齢者や障害者の方へ配慮をした上で実施してほしい。

◎（事務局）

利用者の方の意見を伺いながら便利なサービスとなるように随時改善していきたいと考えている。

なお、障害者の方を対象とした戸別収集は「ふれあい収集」という別事業があり、そちらは今後も無料となる。

●（松本委員）

車を所有していない世帯は無料ということですが、その条件を詳しく決めた方がいいと思う。

◎（事務局）

今後詳細を決定してく中で検討していく。

（３）その他

今年度環境審議委員改選の年となっているため、各委員には引き続きお願いしたいと考えている。

推薦書を 10 月に送付させていただくため、よろしくお願いします。

●（平井会長）

それでは、本日は、以上で令和７年度第１回島田市環境審議会を終了する。

以上で終了